

施策 221 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成

【担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちが「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」を実感しながら、主体的・協働的に学び、自らの夢や希望をかなえられるよう、指導方法および指導内容の工夫・改善や、学校・家庭・地域が一体となった取組が充実することにより、他者と協働しながら、社会を生き抜いていける、確かな学力と社会への参画力が育まれています。

平成 31 年度末での到達目標

学校における指導方法の工夫・改善や家庭・地域と連携した取組が進むことにより、子どもたちが「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」を実感し、意欲的に学んでいます。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数（注）	0	2		4		8 （全教科）
目標項目の説明	教科（小学校国語 A・B、小学校算数 A・B、中学校国語 A・B、中学校数学 A・B）の平均正答率において、全国平均を上回った教科数					
29 年度目標値の考え方	全教科で全国平均を早期に上回ることを目標とし、段階的に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22101 学力の育成（教育委員会）	授業内容を理解している子どもたちの割合		小学校国語 83.5%		小学校国語 85.0%		小学校国語 88.0%
			小学校算数 83.0%		小学校算数 85.0%		小学校算数 88.0%
			中学校国語 77.0%		中学校国語 78.0%		中学校国語 84.0%
			中学校数学 75.8%		中学校数学 76.2%		中学校数学 77.0%
		小学校国語 82.2%					
		小学校算数 81.3%					
		中学校国語 76.3%					
		中学校数学 75.4%					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22102 グローバル教育の推進（教育委員会）	海外留学（短期留学を含む）や海外研修等に参加した高校生の数		368人		405人		480人
		350人					
22103 キャリア教育の推進（教育委員会）	地域等の人材を招へいした授業等を行っている学校の割合		小学校 84.0% 中学校 65.5% 高等学校 100%		小学校 85.0% 中学校 67.0% 高等学校 100%		小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%
		小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校 98.5%					

注）全国平均を上回った教科数：全国学力・学習状況調査の教科に関する結果は、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意しつつ、児童生徒や学校への質問紙調査の結果と合わせて総合的に活用することが重要です。

現状と課題

- ①平成 28 年度の全国学力・学習状況調査の結果は、小学校で調査開始以来初めて 4 教科のうち 2 教科で全国の平均正答率を上回るとともに、中学校 4 教科のうち 1 教科で全国の平均正答率と並び、小中学校合わせて 8 教科中 3 教科で全国の平均正答率以上となりました。各学校で校長のリーダーシップのもと、組織的・継続的な授業改善の取組が一層推進されるとともに、子どもたちが諦めずに粘り強く取り組んできた結果です。子どもたちの頑張る姿に応えていくため、教科に関する調査や児童生徒に対する調査等の調査結果を総合的に分析し、引き続き授業改善等にしっかり取り組んでいく必要があります。
- ②さまざまな分野で活躍できるグローバル人材の育成が求められており、また、サミットやジュニア・サミットを経て、子どもたちの世界への関心が高まりつつある中、小学校段階からの英語教育を充実し、自らの考えを伝える力や英語でコミュニケーションを図る力を育む必要があります。
- ③子どもたちが自己の能力や適性、社会や時代のニーズを理解するとともに、多様な選択肢の中から進路を決定する能力や態度を身に付けるため、子どもたちが地域の魅力ある仕事等を知る機会の創出や、就職支援等の取組を推進していく必要があります。

平成 29 年度の取組方向

- ①みえの学力向上県民運動ファーストステージの総括をふまえ、引き続き本年度から 4 年間をセカンドステージと位置づけ展開しています。セカンドステージでは県民力を結集し、県・市町教育委員会、学校、家庭、地域がともに手を携えて取り組み、学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の定着等の取組を広げ、家庭の状況により対応が難しい問題については、地域による学習支援等により地域で支えるという方向性を基本として取り組んでいきます。

- ②学力向上アドバイザーの助言等による効果的な少人数指導（習熟度別、チーム・ティーチング）の実践的な授業研究の検証の結果をふまえて、成果の普及を図ります。また、教育的に不利な環境にある子どもたちが多い学校に対する教員の配置などにより、学力の向上につなげていきます。さらに、国の調査官を招へいした授業公開を含む研修会や全国学力・学習状況調査等の結果から明らかになったみえの子どもたちのつまずきに対応したワークシート等の活用により、授業改善を促進します。加えて、教育支援事務所を中心に学校や市町教育委員会の実情に即したオーダーメイドの支援を推進します。
- ③学校の枠を越えた高校生のネットワークの構築、留学の促進、英語キャンプや国際科学技術コンテスト等への参加を通じてグローバル人材を育成するとともに、CAN-DOリストを活用しながら、小・中・高等学校の系統性を意識した英語指導モデルの構築と普及・啓発を行います。
- ④子どもたちが将来社会で活躍できるよう、社会生活や職業生活に必要な基盤となる能力や態度を育成するとともに、新規高等学校卒業者等が就職した職場で自己実現を果たすことができるよう、外部人材を活用した就職支援および職場定着支援に取り組みます。

主な事業

- ①みえの学力向上県民運動推進事業【基本事業名：22101 学力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費）
予算額：(28) 2,963千円 → (29) 961千円
事業概要：みえの学力向上県民運動セカンドステージにおいて、引き続き、推進会議を開催し、取組の検証・改善を進めます。また、学校では、授業改善等の取組を深め、家庭では生活習慣等チェックシートの活用等による生活習慣の確立等の取組を広げ、地域では学習支援等により、地域で支えるという方向性を基本として、県民力を結集し、取組を推進します。
- ②学力向上支援事業【基本事業名：22101 学力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 57,561千円 → (29) 40,865千円
事業概要：効果的な少人数指導の実践的研究とその成果の共有を進め、個に応じた指導の充実を図ります。また、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果や子どもものつまずきに対応したワークシートの年間を通じた計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善により、子どもの達成感に結びつけ、学習意欲の向上を図ります。
- ③小中学校指導業務運営活動費【基本事業名：22101 学力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 4,946千円 → (29) 3,697千円
事業概要：本庁と教育支援事務所が連携し、市町教育委員会および小中学校を訪問して、地域の実情に即した学力向上の取組を支援します。

- ④（一部新）世界へはばたく高校生育成支援事業【基本事業名：22102 グローバル教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 33,373千円 → (29) 32,381千円
事業概要：高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人育成塾や、英語キャンプ、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決力を育むため、小中高生が探究的な活動を実践し、その成果を発表するみえ自然科学フォーラムを実施します。
- ⑤（新）明日へつなぐグローバルチャレンジ推進事業【基本事業名：22102 グローバル教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) ー千円 → (29) 3,824千円
事業概要：郷土に関する英語による補助教材を作成するとともに、英語キャンプ、イングリッシュデー、ワン・ペーパー・コンテストを開催することにより、語学力やコミュニケーション能力等に加え、郷土三重についての学習を深め、英語で積極的に発信できる力を育みます。
- ⑥みえの担い手育成推進事業【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 58,427千円 → (29) 43,761千円
事業概要：小・中・高等学校を通じて、組織的・系統的なキャリア教育の充実、地域の仕事に対する児童生徒の理解促進、外部人材を活用した職場定着支援等に取り組み、地域の担い手育成を推進します。
- ⑦（一部新）未来を拓く職業人育成事業【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 29,216千円 → (29) 6,488千円
事業概要：高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミット（仮称）を開催するとともに、地域活性化に参画する高校生の取組を支援します。また、食関連産業や観光業等と連携した取組を支援します。
- ⑧（一部新）「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業費
【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 13,885千円 → (29) 23,781千円
事業概要：国際的な感覚と広い視野を持ち、将来、果敢に何事にも挑戦し産業界で活躍できる人材を育成するため、職業学科の生徒を対象に、アジア圏にある県内企業の海外工場や欧米のレストラン等で実習等を行う海外インターンシップを実施します。また、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。